

助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2022年2月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539



2024年2号(3-4月号)

特集

助産所でも診療所でも病院でも ここまでできる産後ケア

産後ケア事業を行う市町村は増えたものの、量と質の確保と安全管理、経営の課題が指摘されています。本特集では、「成果が出せる産後ケア」を意識して、さまざまな産後ケア実施施設から「ここまでできる!」というベストプラクティスを集めました。



2024年1号(1-2月号)

特集

データでみる「助産所のお産」 嘱託医療機関との連携で実現する安全性と継続性

21 助産所と1 嘱託医療機関の12 年にわたる連携症例 5826 例を分析。助産所分娩を希望した症例の8 割が、嘱託医師への移行や搬送なく母児ともに問題なく退所します。助産所のお産の現代的意義や、安全な医療のために必要なことまでも可視化した大特集。



2023年6号(11-12月号)

特集

新世代がつくるお産の場 わたしたちの助産院

2021 年における助産所での出生は全体の0.5%。「そんな今だからこそ、お産のできる助産院を開業しました」という若手の開業助産師たちのロングインタビューを掲載。なぜ、どうやって開業したのか、ハードルは? 経験談を掘り下げます。



2023年5号(9-10月号)

特集

HTLV-1 母子感染予防の 新方針

2022 年11 月改訂「HTLV-1 母子感染予防対策マニュアル(第2 版)」では、最新の研究結果に基づき、短期母乳栄養の選択肢が加わりました。同マニュアル改訂の概要を解説し、HTLV-1 キャリアの母親とその子どもへの継続支援、心理的サポートの最新情報をまとめます。



2023年4号(7-8月号)

特集

産む人を中心にした 帝王切開

帝王切開を「出産」と捉え、産む人・生まれる人を中心にした実践を行うためには、助産師は何を学び、何をすればよいのでしょうか? 産婦人科・麻酔科・形成外科・リハビリテーションの専門家に聞きました。「産む人」代表の細田恭子さん企画です。



2023年3号(5-6月号)

特集

妊娠中の体重管理と栄養

2021 年に「妊娠中の体重増加量の目安」が改定されました。低出生体重児の割合が高く、「やせ」の女性が多い日本。妊娠・出産をきっかけに、女性が自身の心身の健康に向き合えるような体重管理のあり方を、さまざまな角度から考えます。

2023年 特集

- 2号(3-4月号) チームで取り組む周産期メンタルヘルス
- 1号(1-2月号) ライフワークとして考える助産師のキャリア

2022年 特集

- 6号(11-12月号) ベテラン助産師に聞く退院までの母乳育児支援のコツ
- 5号(9-10月号) 共働き家庭のための出産準備アップデート
- 4号(7-8月号) 切れ目ない支援を実現する産前・産後の訪問看護
- 3号(5-6月号) オンラインクラス・オンライン相談
- 2号(3-4月号) 教科書に載っていない「進まない分娩」の対応